

「神はわれらの避け所、また力。苦しむとき、
そこにある助け。それゆえ、われらは恐れない。
たとい、地は変わり山々が海のまなかに移ろうとも。
たとい、その水が立ち騒ぎ、あわだっても、
その水かさが増して山々が揺れ動いても。」(詩篇46:1-3)

東日本大震災、被災者の皆さまに心からお見舞い申し上げます。震災復興、福島第一原発事故に対処されている皆さまの上に、ますます神様の導きがありますように。

ハレルヤ！皆さま、いかがお過ごしでいらっしゃいますか。チア・マガジン34号ができましたので、ニュースレターと共にお届けします。東日本大震災、福島原発事故らが起こり、この1ヶ月半、震災前には考えられないような出来事の連続ですね。悲しみの大震災以降、日本全体が激震する中で、チアも大きく動く1ヶ月半でした。

今、私は、コロラド州のデンバーに向かう飛行機の中です。日本への支援等を考えたいという方々とのミーティングのためです。3度断ったミーティングでした。明後日から日本に向かい、2度目の支援物資を届けるためのチアからの救援部隊に出かける直前で、ほかの仕事も錯綜していたからです。先方の方は、私が辞退する度に、必要を訴えられ、その方々の日本を助けたいとのご厚意も無視できず、「水の上にパンを投げる」思いで向かっています。

このような展開でコロラド、また、日本へ向かうことは、大震災の前には想像もしないことです。以降、チア的环境や行動も変わっています。もちろん、神のことばと、その使命に立つ思いには、何も変わりはありませんが。

今回は、以下の項目で近況をレポートさせていただきます。

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

【今月の巻頭言】

- | | |
|--|---|
| <p>1 被災者への共感 支援物資やボランティアチームを派遣・コーディネートの道、開かれる……………P1</p> <p>2 ライフ・ラインTV、HSLDA、ブリッジス・フォー・ピース、ポブ・ジョーンズ大学前総長ほかのクリスチャン団体ほか、応援のきずな、拡がる……………P2</p> | <p>3 原発事故の長期化、電力不足の混乱等の中、チア・コンベンション、サマーキャンプを順延、白馬セミナーでの再会に！……………P5</p> <p>4 小惑星探査機「はやぶさ」の川口教授にインタビュー「批判される時は『動いている』良き兆候」… P6</p> <p>5 我が家の3人の子どもたちと1人ずつ過ごす………… P8</p> |
|--|---|

1 被災者への共感 支援物資やボランティアチームを派遣・ コーディネートの道、開かれる

東日本大震災では、日本のチャーチ&ホームスクーラーたちが、被災した人々のために、大きく用いられています。最初の3週間の動きを、以下に短くまとめます。

3月9日に日本に着き、震災の前日は仙台でミーティング等をして東京で震災を体験しました。震災の夜以降、全国のチアの皆さんから、被災地の皆さんの安否を気遣う電話やメールでの問い合わせが相次ぎました。幸い、丸森の皆さん始め、東北各地のチアのメンバーの皆さんから、大きな被害からは守られたとの連絡も届きました。この時期、チアの皆さんから「ボランティアの必要あれば、…」とか、「義捐金を受け取ってくださいか。チアなら正しく使ってくださいと思うので」とのお電話と共に、義捐金が集まり始め、支援物資やボランティアチーム



船が道路に… (気仙沼市 4月20日)



泣きそうなダンブ (3月24日)

を派遣・コーディネートが、開かれていきます。丸森・明泉学園は支援活動の中継基地として用いられていきます。最初はチアの皆さん方からの献金、その内、クリスチャンの各支援団体の宿泊ベースキャンプとなり、常時40-50人が泊まるようになり、その後、アメリカからの92トンもの物資の受け入れコーディネート役として、用いられていきます。今回、被災した地は、60年に亘り、丸森の皆さんが4-5年に1回、全戸へのトラクト配布や、学校伝道等、最も多く伝道が繰り返されてきた地でした。去年1年ほどかけて伝道で回ったばかりの地で、ナタンさんたちは、フォローアップに神様は引き戻してくれたのかなと思ったそうです。ひも付き伝道みたいにならないように、痛んでいる方々のニーズに答えようとされたそうです。でも、支援の中で仲良くなった南三陸町の方に聖書を渡す機会も与えられました。その方は「40年前、学校の前でもらったの思い出すよ」「花火大会の時に伝道してる人たちだ」「今度は、いつ来てくれるの?」「いつ漁に出られるかわからないけど、魚取ったら、必ず、送るからな」、そんな温かいコメントが送られたそうです。

ジャン・ハリガンさんは、教え子のお父さん(32)のお葬式に出られました。その日、第三子を宿していたことがわかったという、お母さんが大声で泣かれていたそうです。幼稚園児の子どもさんは、状況がわかっていなくて、涙もなく、余計に涙を誘ったそうです。伊東エリヤくんは、GrapeSEED教材の倉庫がある多賀城市を訪ねると、1Fは、エレベーターほか流されたものの、4Fにあった教材は守られたとのことでした。でも、スタッフの方によると「まず、津波第一波の衝撃でビルが大きく揺れ、崩れると思った。次々と流されてきた大型トラックやコンテナがビルに激突し、1Fの鉄骨が次々と折れた。地震で外に出て、津波だーとの声で自分たちはビルの2Fをめざし、他の仲間は、外の高台に向けて走りだした。でも高台に走りだした仲間はすぐに追いつかれて、皆、流されて、命を失った。今、こうして話していても、命が残された不思議を思う...」

詳しい経緯はチア・マガジン34号の巻頭言に、さらにもっと詳しいレポートはチアのホームページに9回に渡って書かせていただきました。その日、その日と、神様は、語りかけてくださっていると思います。もし良かったら、ぜひ、ご覧ください。

以下、マガジンの特集記事執筆分以降の状況を中心にお知らせしますね。

3月25日まで、チアのサマーキャンプで8年間、お世話になってきた東松島市をスタートに、被災地支援に向かいました。一見、「そんなにひどくなかったのかな」と見えた東松島市は、津波後、まだ4月20日現在でも水が引かず、2キロ四方の湖となり、その湖水の下には、400~500人以上の犠牲者や家屋が水没したままとのことでした。石巻市は、町の中に船や車が山積みとなり、車2台が突っ込んだ家の後片付けをしていたおじさんたち(息子さん2人と、奥さんを亡くされたとのこと)に食料品を手渡すと、とても喜んでくださいました。また、原発事故で、屋内退避地域に指定されている南相馬、相馬、新地町に入り、食料品等を渡すことができました。その後、仙台での牧師や支援団体との会議を経て、東京に着いたのは、午前1時30分。その日が、アメリカの新聞社から頼まれていた原稿の締切日だったので、朝5時30分までレポートを書きました(下記参照。「福島第一原発事故の屋内退避地域で診療を続ける医師」というタイトルでCultural News紙4月6日号掲載)

Cultural News Email Daily

Cultural News Email Daily is trying to deliver firsthand experiences from damaged Japan to provide information of local relief activities in Japan and to build public support toward the efforts of rebuilding Japan. Your support to Cultural News is needed for news gathering from Japan. www.culturalnews.com/donation

Firsthand report from damaged Japan: A doctor continues practice in indoor-confinement area near stricken nuclear power plant



In Minami-soma, nothing of any shape remains, except for occasional roofs, leaving the entire region as a huge mud plain with only roads running through it. (Photo by Chea Japan)

2 ライフ・ラインTV、HSLDA、ブリッジス・フォー・ピース、ボブ・ジョーンズ大学前総長ほかのクリスチャン団体ほか、応援のきずな、拡がる

その後、1時間仮眠して、そのままマガジンの準備と、26日分の第6回レポートを書いて、TVライフ・ラインの収録へ。TVライフ・ラインでは、前から予定していた映画「アメイジ

ング・グレイス」の全国ロードショーにあたっての解説番組を収録。「神様の御心を求めて正しいことをしていても、困難は許される。自我が砕かれ、忍耐していく中で、神様は、ポツリ、ポツリと援軍を送ってくれる。そして、主の時に事がなされていく」という、すごく励まされたメッセージが伝わってくるいい作品です（マガジン34号巻頭特集ページを参照ください）。

でも、その制作前に、山本美砂子ディレクターや、メッセンジャーの関根弘興牧師ら、ライフ・ラインの皆さんに、宮城、福島県の被災地の現況を分かち合いました。ライフ・ラインのマネージャーの鈴木和子さん始め、皆さん、緊急に検討してくださって、特別番組を制作しましょうと決断してくれました。そして、撮影してきた写真やビデオを、若手社員の方や、カメラマンのティムさんほか、社員総掛かりという感じで、収録用に変換してくれたりして急ピッチで備えてくれました。そして「アメイジング・グレイス」の収録に続いて、特別番組の収録となりました。

TV番組の編集は大変です。山本和明ディレクターに、「(稲葉) いつもすごい大変なのに、申し訳ない気持ちでいっぱいです」「(山本和明ディレクター) いえ、これは、東北地方の被災地の苦しんでいる皆さんへ、私のできる応援、自分がなすべき使命の一つだと思ってやります。全力で作らせていただこうと思っています」とのこと。その後、猛スピードで編集してくださり、緊急特番「東北・関東大震災一現地状況レポート」として、ネットにもアップしてくれました。数日後、山本美砂子ディレクターから「反響大きい！ たくさんの教会やグループの皆さんが見てくださって制作して良かった！」とコメントをいただきました。今回、現地を回りながら聞いたり、感じたりしたことを話しました。後で、やっぱり寝不足だったので、もう1回撮ってもらったら、もっと言えたのにという気もしましたが、でも、ベストは尽くせたなと思いました。良かったらYouTube、チェックください。http://tv-lifeline.com/special/special_program.html

その日は、飛行機にぎりぎり間に合い、ロスに帰国できました。アメリカで支援体制を整えて、さらに増強した体制で、できれば第二陣の支援チームを4月下旬ごろ派遣できればと祈っていました。これが、第一陣を終えて、一緒に行った堀井卓さんと導かれた結論でした。かなり物資は充足されているというので、もう他に任せて、チアはバックアップにまわるかなと、最初思ったのですが、原発事故の福島や、石巻の浜辺で出会った、避難所に行けてない自宅難民と言われている人々、あるいは、まだ物資が仙台周辺のように満たされていないであろう、岩手県の北部ほか、ほかの人々が行ってないところに必要があるのでは、との思いが2人に共通していたからです。

アメリカで具体的に支援を考えてくださっている団体の皆さんとのミーティングや電話でのやり取りが続き、日本の方からも、イギリスの最古の高級紙の「ロンドンタイムズ」紙の記者さんから、スポーツ新聞の記者さんまで、ホームページを見てくださいました。それで、アメリカに戻ってから、台所でご飯を食べる時間が無いという予せめぬ忙しさで過ごしています（いつも、遊ぼうと言ってそばにくる2才半のジョセフに、「ダディ、お仕事。だから、ちょっと待っててね」と言ってましたが、今日は子ども用の丸いプールにお湯を入れて、1時間ぐらい初めて遊べました。ちょこちょこバスケットしたり、鶏と遊びましたが、早く、じっくり遊べるようにと祈っています

す。今朝は明け方に寝て、朝過ぎてもベッドで寝てたら、枕元にミニドーナツを持ってきて、「ダディ、ドーナツ!」と言って、転がしていきくれました(´▽`))。

HSLDA（ホームスクーリング法律擁護協会）の皆さんとのミーティングが祝福されて、全米のホームスクーラーたち（約300万人）に復興支援のための祈りと義捐金を呼びかけてくれることになりました。そしてマイク・ドネリー弁護士が、早速、記事にして、全米のリーダーやHSLDAメンバーたち、8万家族に発信してくれました。



マイク弁護士との電話会議で以下のような話し合いをしました。「(稲葉) 被災地には、約80家族のチア・にっぽんのメンバー家族、教会の皆さんがいるけど、幸い、津波から守られた方々がほとんどだった。ある教会は、全部流され、教会の兄弟を失った。原発事故のエリアで避難して、まだ直接の連絡が取れてない家族も、何家族かいる。それから、被災地から遠くへ避難してる家族も何家族かいる。でも、被災地のホームスクーラー家族たちを含め、日本全国のホームスクーラーたちは、被災者を助ける側に立って、支援ボランティアとして、神様が用いてくださってるよ」。

「(稲葉) 僕たちはプロの緊急援助隊ではない。僕たちは、日本でチャーチ&ホームスクーリングを啓蒙し、学校任せではない、親が責任をもって子育てをしよう！って、家族・教育の原点、聖書が教える本来のあり方に戻っていくことを手伝うための団体なんだ。だけど、今回は、なぜか、この東北の被災者の人々の悲しみを共有して、自分自身のあり方を悔い改め、何か、被災者の人々のニーズにあうことを、微力でもできることをしていこうって導かれてきた。日本全国のホームスクーラーたちからも、不思議と義捐金が集まってきて、応援の気持ちを伝える業が開かれてる。各地の避難所に物資を届けるだけでなく、浜辺で自宅避難して、今も電気も物資もなく、すごく困っている人々や、福島原発の自宅避難エリアの人々、マスコミやボランティアでさえも、ほとんど行かないエリアの人々、また、岩手県北部の田舎の方で、まだ孤立状況で、100人も一つの集会所ですし詰めだったり、3週間もシャワー浴びてない人に応援の気持ちを伝える業が開かれてる」

「(マイク弁護士) それは、尊いことだし、とてもうれしい。僕たちに何か手伝えることは？」



津波が過ぎて…（南相馬市）

「（稲葉）ありがとうございます。もし、日本の状況のために、神様が何か語りかけてくださっていたら、祈りでも何でも、その対応をしていただければ、感謝だよ。マイク、誤解の無いようにね。僕たちは、なにか金額の目標があって、その達成をめざして、寄付金とかお願しているのじゃないんだよ。神様がやりなさいと言ってきて、与えられた分の支援をできればいいと思ってる。マイク・スミス（HSLDA代表）からは、今までこう言われてたんだよ。『ヒロ、この10年、チア・にっぽんは、HSLDAにお金の支援を求めなかった。それを尊敬してるよ。実はね、HSLDAにとって、初めての外国のホームスクーリング団体なんだよ。尊敬してるよ』と。そんな状況が許されてきたことを感謝してたんだ（それは、チアのメンバーの皆さんや協賛してくれる企業や団体のお陰でもあったし、チアの仕事とは別に、チア自身が働いてお金を稼ぐ仕事を与えてくれて、自分たちで働きながらできるように仕事を与えてくれた神様のお陰です。とはいえ、この5年ぐらいいは、チア・にっぽんの経済も厳しく、綱渡りの状況を神様は許されたけど、でも、HSLDAには頼まずにやってこれました。これは、電話では言わなかったですが、…（^_^））」

でも、今回は、東北の被災地の現状を考えて、マイクには伝えておくれ。神様に導かれることあれば、どうぞ、神様に導かれるようにしてください。でも、確認したいことは、どうぞ、誤解しないでください。お金をくださいって頼んでいるわけではないんだってことを」

「（マイク弁護士）ヒロ。大丈夫だよ。この電話は、君がかけてきた電話ではないんだから。私たち、HSLDAに何かできることはないだろうか。それを教えてほしいと、僕が君に電話をかけて聞いたんだから」

「（稲葉）それは涙が出ることばだよ。そのことばと姿勢を聞いたら、日本の被災者の皆さんも、ホームスクーラーたちも、そして、日本中の人々が感激すると思うよ。ありがとう」

「（マイク弁護士）こちらこそ、ありがとうだよ。では、何か、また情報あったら伝えてくれ」

「（稲葉）了解。祈ってください」

そして日本やチアの皆さんの状況のレポートや写真等をまとめて送りました。2日後、HSLDAのニュースレターが全米に発信されることとなりました。HSLDAのホームスクーリング財団は、ホームスクーラーを経済的に助けるための活動を展開してきました。でも、災害等の被災者を助けるための救援活動ということはこれまで聞いたことがありません。それはいいことであっても、そのような呼びかけは設立の趣旨とあっていな

いので、それぞれに委ねるということだったのではと思います。それを心から理解します。でも、今回の東日本大震災において、日本のホームスクーラーたちが、被災者を支援しようとしているということに神様の御旨を感じてくれたのか、今までに開いたことのない扉を開いてくれました。ただ現状をレポートして呼びかけるだけでなく、マイク・ドネリー弁護士自ら、以下のように呼びかけてくれました。

（HSLDA記事より）…マイク・ドネリーHSLDA国際ショナル部門代表弁護士は、世界中の皆さんが考えてくださるよう、心からの励ましを送ります。ぜひ、日本のホームスクーラーたちを、ホームスクーリング財団を通して、サポートして下さることを。「ヒロとチア・にっぽんは偉大な業を行っています。痛みへの共感に基づいた行動、敏速な、そして礼節をもった対応で、先月の巨大な地震と津波による、あの悲劇的な災害を体験することとなっている被災者の皆さんのニーズに答えています」。ドネリー弁護士は言います。「皆さん、できるなら、私は心から皆さんを励ましたいです。どうぞ、日本のホームスクーラーたちを助けて、彼らが多くの人々を助けてあげることができるようにしてください。皆さんの祈りを通して、あるいは、経済的なサポート、義捐金を通して。よろしく願います」。

すごい、感謝な記事でした。マイク弁護士に伝えたように「神様の御旨のままに」、また「神様の栄光につながるように」、その記事も用いられるように、お祈りください（記事全文は9～10ページへ）。

三陸地方で活躍するナタンチームからの感謝の電話

チルミニでお世話になっているナタンさんから最新情報を伝える電話をもらいました。

「（ナタン）その後入った、南三陸や岩手の北部は、ものすごく物資が困窮し、3週間風呂に入っていないとか、100人が集会場にすし詰めとかそんな状況だよ。すごいよ。町役場等が壊滅状況に近いこともあるから、よけい混乱が続いている。時計の針を10日か2週間くらい戻したような、仙台周辺で被災して翌週とかの状況に近いかな」「（ナタン）町の中心部には物資や食糧が届いていて、各避難所の皆さんが、それぞれ物資を取りに行くことになっているらしい。でも、道が分断されたり、ガソリン不足で、少し山間部の避難所からは取りに行けないらしいんだ。避難所のみみんなが仮に造った道路を、僕たちの車も走ったんだけど、狭くてすごいぬかるみで…。最後は、はまってしまって、トラック、動けなくなったんだ。避難所の皆さん、総出で手伝ってもらって。1時間半かけて、ようやく脱出したんだ。そんな状況だから、物資も不足してる」とのことです。そんな状況の中で出会う人たちですので、ナタンチームの持っていった支援物資、とても喜んでくれているそうです。

「（ナタン）チアの皆さんに感謝を、ぜひ伝えてください。チアからの食糧やお菓子も、すごく喜ばれたから。お菓子とか、すごく喜ばれたよ。だって、3週間もまったく口にしないんだから。少しずつ分けてね、子どもたちには、子どもたち用の伝道のトラクトと一緒に渡したよ。子どもたちはもちろん喜んで、お母さんたちも、とても喜んだよ。チアの皆さんにくれぐれもよろしくね」

ロサンゼルスで寄付金を担当しているジャン・ブローマンさ



南三陸町での笑顔

んは、「ボブ・ジョーンズ大学やチア・カリフォルニアほか、チアとの出会いを通して知り合った皆さんからの励ましも多く、感謝しています」とのことでした。

(ボブ・ジョーンズ大学のボブ・ジョーンズ3世前総長から、地震の当日、ロサンゼルスにすぐに電話いただきました。東京から留守電に入ると、翌日、午前1時にも電話くれました(^_^)。原発事故のニュースを見てたので、起きてましたけど。それだけ、日本のことを心から心配してくれたのだと思います。そして、関係者の皆さんに募金を呼びかけ、後日、フォローのメール等くださり、心から感謝でした。)

ブリッジス・フォー・ピース、 イスラエル医療団らをコーディネート

ブリッジス・フォー・ピースが、イスラエル大使館らによる60人あまりの医療団を、裏方となってコーディネートしました。チアのメンバーのAさんや知人のBさんらから、通訳の皆さん募集という連絡がチアにありました。場所は、南三陸とのこと。3日前、ナタンさんらが移動した町でした。それでナタンさんたちを紹介。翌々日、局長の高田さんからお礼のメールをいただきました。「仲介ありがとうございました。今朝、ナタンさんとBFP, Japanのスタッフ入路が無事にお会いして、MTGを持つことができました。今日は3時頃から急に忙しくなりました。ほぼマスコミ全社が取材に訪れてくれました。ナタンさんらの緊急のHELP、行動力、お世話になりそうです。感謝しています」とのこと。

その後は、「せっかくの第一線の医療チームなのに、利用者が一日で30名くらいと少なかった」と高田さんから連絡あり。実際の避難民の皆さんの各地の避難所を細かく回る等でできればと思いましたが、なかなか、難しかったそうです。「イスラエルチームも予定より早く帰国となって、関西から来た通訳ボランティアをナタンさんチームの活動に加えてもらうことになりました」と再連絡ありました。さらに来た連絡は、その通訳のチームは、加古川バプテスト教会のチームで、日頃、チア・コンベンションや白馬セミナーでおなじみの加古川インターナショナルクリスチャンスクールの仲間の皆さんとのことでした。

思いがけない再会が東北でなされるという、神様の素晴らしい計らいでした。

昨日、高田局長から、以下のお礼のメールをいただきました。

「ハレルヤ！ ご報告と感謝のメールです。昨日、南三陸から無事に加古川バプテスト教会（KBC）の梅谷悟先生が戻られました。この度は、突然のお願いだったにも関わらず、KBCのボランティアチームを受け入れてくださり、本当にありがとうございました(_)」。思いがけず、チャーチスクールの関係で親しい方がナタンさんのチームにいらしたということで、梅谷先生もとても喜んでおられました。

ナタンさんのチームに入れていただいたことで、現地の方々のご奉仕をすることができ、現地で祈り、また関西の方々に祈りの継続を訴えることができる証人となることができました。

今回のことを通して、これまでのマスメディアによるイスラエルへの悪いイメージが塗り替えられた方々も多くいます。彼らの医療チームとしての働きは貴重でしたが、それ以上に人々のイスラエルへの思いを変えたという点で大きな貢献をしたと思っております」

アメリカの緊急援助隊員、 「(一人も助けられなかったけど) でも、関わらせてうれしい」

ボランティアが著しく用いられるケースとそうでないケースといろいろあると思います。でも、ベストを尽くされた方々の行為は本当に素晴らしいと思います。アメリカに戻って、今回、アメリカ政府から派遣された80人の緊急救助隊員の一人、Cさんの報告を聞くことができました。大船渡市に緊急救助犬6匹と共に行かれました。彼らは、全米の消防士の中で、数々の試験に合格して選ばれた精鋭のチームです。しかし、人命救助は一人もできなかったそうです。80人と6匹のチームで6人の遺体を見つけた1週間だったとのこと。受け入れ先となった大阪の消防本部の指令で、2週間の予定が1週間となったそうです。そうした結果についてCさんは、「それは、日頃の消防士としての救助活動にも言えるんだ。人命を救助できないことがずいぶんある。でも、今回、自分はベストを尽くせし、関わって、とてもうれしかった」と明るく話してくれました。大震災前のニュージーランドでも、日本から行った救助隊は、一生懸命、捜索されましたが、犠牲者を救助することはできませんでした。でも、彼らの行為は、多くの遺族を慰め、ニュージーランドや日本や各国の人々を励ましたと思います。今回のBFPJの皆さんの働きも、行政や大使館との陰のバック役で、いろいろと大変だったこともあったでしょうが、一つ、一つは益と変えられ、神様がきっと労をねぎらっているのではと思います。そんな思いを高田局長に伝えました。チアとしても、国内外の働きのブリッジに、少しでも関わって、神様に感謝しました。

3「チア・コンベンション」、「サマーキャンプ」 順延へ -11月に白馬で会いましょう！

長期間、予断を許さない状況が続いている中で、12回目を数える「チア・コンベンション」、また9回めのチア・サマーキャンプの順延のお知らせです。

チア・コンベンションは、私たちの団体にとって大事な企画で、今年12年目を迎える、最大、最重要な歴史ある企画です。

3年ぐらい前から準備に入っていたもので、その順延は、私たちとしても、いろいろな意味で、痛みの大きい苦渋の判断です。

チアは風評に流されず、内外の専門家情報を分析し、冷静に判断するDNA - 2010年は新型ウィルスで全国的な休校の中で、計画通り実施し、1200名の参加

昨年度、コンベンションは、まさに新型ウィルスへの不安の中で開催して、結果的に祝福されました。日本全国の学校のほとんどが休校し、コンサートやスポーツイベントほか、多数の人々が集まる企画等がほとんど中止されている週にあたっていました。しかし、日本だけでなく、世界的に、医師ら専門家の皆さんや各国の対応状況の情報を集め、治療法も含め、冷静に分析し、大丈夫であろうと判断し実施に踏み切りました。

私たちは、世の流れや、いわゆる「自粛の雰囲気」で決める体質ではなく、海外の専門家も含めて、独自に、冷静に分析し、大丈夫と判断したら、やるという姿勢で動いていると捉えていただければ感謝です。

2011年度は順延の理由 - 「原発事故・放射能漏れ長期化」、「予断を許さない状況」との政府・保安院・東電の公式見解のもと、半数以上が、海外・乳幼児、妊婦、子どもたちという特徴ある参加者への悪影響・混乱回避の必要のため

水蒸気爆発は避けられたとしても、政府や東電の発表によれば、少なくとも6ヶ月以上は解決されることなく、放射性物質は流出し続けると発表されています。すなわち、水や食品、土壌、大気の問題は、続くということです。特に、乳幼児、妊婦、ティーンらの参加者が多く、東京での宿泊しての企画を全国的に呼びかけるのは、教育的にも、健康的な観点からも無理があると判断せざるを得ませんでした。

計画停電による首都圏の交通アクセスの混乱の可能性

また、計画停電等は無い方向での調整は続いています。でも、まだ、仮定、努力目標の段階で、再び、計画停電で電車等、交通アクセスの不安定さ等、クーラー利用が始まるであろう6月初旬には、可能性も高いと思われます。それも、マイナス要因の一つです。

白馬で会いましょう！ そして被災者支援！

白馬セミナーは予定どおり、11月17日～19日にかけて実施する予定です。白馬の基調講演者は、エリザベス・スミスさんです。コンベンションからの登板変更を快諾してくれて、とても喜んでます（チア・マガジン最新号12～16ページをご覧ください）。今年はずいぶん、白馬で会いましょう。また、来年以降は、これまでどおり、あるいはこれまで以上に充実した企画を今から準備していければと思い、準備を加速させていこうとしているところです。

チア・サポートスクールは、約20名あまりのみなさんと、すでに開校させていただきました。日常的な活動は、状況を見ながらも、粛々と進めていければと思っています。また、被災者支援のプロジェクト等は、今後も、エネルギーを注いでいけ

ればと思っています。

今回の順延は残念ですが、今後のために、さらにウィングを拡げて行動する1年なのかなと考えています。2012年は、さらに神様にパワーアップされた開催となるのではと思います、今から楽しみにしています。ぜひ、お祈りください。

以上が判断の経緯、また、今後の展望です。もし、ご質問等あれば、どうぞ遠慮されることなく、何でもご質問ください。

3月後半あたりから、コンベンションやキャンプの開催を願うお電話、お申し込み等もたくさんいただき、残念でもありません。両企画は来年まで順延になりますが、今年は皆さまに、神様からの新しい祝福があることを心からお祈りしています。また、チアがこの間、新たな導きの中で歩めるように、お祈りいただければ幸いです。きっと皆さん祈ってくださっているんだらうなど、そんな力を感じることが多いですが、これからもどうぞ、よろしくお祈りします。

原発問題が一日も早く、無事に解決することと、皆さまのますますのご繁栄を心から祈りつつ。

4 小惑星探査機「はやぶさ」川口淳一郎教授にインタビュー

— 「批判される時は、「動いている」良き兆候」



川口淳一郎教授

昨年、高校の同窓会の企画担当として、OBの皆さんへのインタビュー等を進め、お祈りをお願いしていました。3月14日は、5人めで、小惑星探査機「はやぶさ」プロジェクトマネージャー川口淳一郎教授へのインタビューが予定されていました。しかし、計画停電初日で、順延。3日後の3月17日に再アレンジしてくれました。場所は、相模原市の宇宙科学研究所(JAXA)。

「(稲葉) 昨年度、日本全国に希望をもたらした『はやぶさ』プロジェクトですが、プロジェクトの予算付けにも苦労され、途中、迷子になったりとか、絶体絶命のトラブルが生じたり、何度かプロジェクトがとん挫し、終わりかけました。その都度、あきらめない姿勢が多くの人々への励ましになったと思います。でも、うまくいかない時、よく忍耐できましたね」

「(川口) 準備をしっかりしてたので、大丈夫、帰ってこれると思っていた。そこに確信があったかな」

「(稲葉) プロジェクトの発想自体、NASAのレベルを飛び越えるものだったとのことですね。研究所内で、予算がついたのも奇蹟と言われたと伺いました。そのようなNASAもが驚く、

発想が生まれたのは、」

「(川口) 環境が大事。NASAと日本を長期間、行き来させてもらっていたので、世界の最先端のNASAでは、こういう風にするんだと体感できるようになった。日本にいただけだったら、すぐにネガティブになったと思うし、発想自体も限られたアイデアしかできなくてだめだったと思う」

「(稲葉) その感覚、すごく、よくわかります。今、自分もハリウッドの環境におかれて、ハリウッドはこうするんだって発見の連続だし、こうやって作るんだって学ばされてるプロセスの途中かなって思っています。その動きを見せられているので、そこから発想するようになっていくというか、」

「(川口) そうですね。日本は縮み志向が強いから、その枠を出る体験は必要ですね」

「(稲葉) なるほど。それにしても、プロジェクトとしては、プロジェクトが始まる前と、始まってからも、危機に何度も遭遇し、プロジェクトが失敗に終わりかける、長い絶望的な期間が訪れますよね」

「(川口) そう。その時、自分は批判されることに強くなった。批判される時は、『動いている』良き兆候なんだなってわかった。そう思えるようになったら、批判されることの、別の意味が見えてきた。逆に『大丈夫だよ』と励ましてくれる場合は、この人は心の中では、だめだと思ってるんだなとわかってきた」

「(稲葉) なるほど。それもよくわかります。今、私たちの映画制作の方も一筋縄にいかないで、冬眠というか、ICUに入っている状況に近いので、その考え方はとても励まされます」... と、勇気づけられたインタビューでした。

チアの今後の支援計画

チア自身としては、ここまで導かれたので、支援をするなら継続してできたら感謝だなと思っています。直接派遣としては、先月に続き、4月中旬(4月19日(火)~22日(木))に第2陣、5月初旬、もしくは、6月、8月とか、その後のチームを送り、さらに、来年とかの中長期的な関わりも導かれたら、感謝だなと思っています。微力であっても、被災者の皆さんへの効果的な応援になればと思っています。同時に、若者たちの弟子訓練的な意味の準備や、長期的には、伝道的な働きとなればとの願いも込めて神様の導きに従っていけば、チアの使命とも広い意味で重なっていくかなとも思っています。特に必要とされている、手が届いていない地域でという案です(今回は岩手県北部、福島県を中心に考えています)。神様に導かれる地域や人々のニーズに応じて、自由に、個別に関わっていけたら感謝だなと思っています。

チアは、神様が導く限り、支援を続けていくべきではと感じていますが、皆さんは、どう思われますでしょうか。

義捐金ですが、前回の宮城・福島支援の時点で45万円ほど、与えられました。最初、名前を名乗られない方から電話があり「義捐金送ったら受け取ってくれますか。チアなら有効に使ってくれるでしょう」「はい。それでは預らせていただきますが、お名前を伺っていいですか」と聞くと、「関西コンベンションなどに参加させていただいた者です」とだけ言われて、翌日、10万円が届いていました。まったく予期せぬことでしたが、とても感動しました。それ以降、献金が続きました。その45万円は、宮城・福島被災地の皆さんのための食糧とガソリン代



LT支援ボランティアスタート(4月20日スタート 大船渡市にて)

に全部、用いさせていただきました。その後も、振り込みが続き、現在、さらに68万円ほど、与えられています。これも食糧とかお菓子、ガソリンとかにして用いさせていただこうと思っています。

それで、引き続き、義捐金を受け付け、今後の支援に生かしていければと考えています(計画の具体案はチア・ホームページをご覧ください)。

ティーンのボランティア希望者の皆さんへ

また、チアのティーンの皆さんや、その親御さんからのボランティア応募も、事務局にずいぶん連絡が届いています。それはとても素晴らしいことだと思ってうれしく、そのような親御さんやティーンたちのことを誇りに思っています。チア独自の計画と他のクリスチャン団体へ合流するリサーチと両方で準備していますので、しばらくお待ちください。

チア独自のティーン向けのプランは今後、じっくり立て、改めてお知らせしますね。6月あたりの案は検討中。8月には確実にそのような企画を実行できればと思っています。

現在すでに、現地で、継続的に、若者らを募集して、ボランティアを進めているクリスチャン団体もありますので、そのあたりとの連携も検討中です。僕自身、よく知っていて、何でも言える関係の団体や僕の実家みたいな団体も、そのように励んでくれているのでとてもうれしいです。ただ、今回の第二次派遣では、まず、そうした若者の受け入れ体制のリサーチも兼ねて、私たち、今回派遣の第二陣のチーム自身が参加してみたらいいかなとも思っています(もちろん、親御さんの責任と判断で、同行される場合はOKです(〇))。

他団体と、チアのコードは、やはり若干違い、ほかのクリスチャン団体より厳しいかなという思いもあるので、無防備にティーンだけを送りこむことは、少し慎重に考えていきたいとも思っています。たとえば、ある私が敬愛する2つのクリスチャン団体からの青年ボランティア募集の案内状を見ていたら、業務にそれぞれ「マッサージ」というのが明記されていて、少し驚きました。チアが責任者なら、若者に、被災者の方々へのマッサージとかは、させません。する方も、される方も、微妙だし。年齢制限もうけて、この人はOKで、この人はだめとかすると、ちょっとまずいかもしれないし。若い女の子がマッサージしても変だし、男性が女性をしても変だし、とか考えまし

た。もちろん、主催者は、同性に限るとか、いろいろ考えてくれていると思うし、そのあたり、もし未整備ならば、こちらから注意点を伝えと、感謝して受け取ってくれる可能性もあるかなとは思っています。

ただ、それは一例で、ボランティア同士での男女の線の引き方とか、対策とか、確認してみたいです。もちろん、ボランティアに来る若者は、しっかりしていると信じたいですが、でもいろんな段階の方が来ると思うし、そのあたり、どのようなマネージメント体制なのか気になります。どうしても、特別な環境で、良き作業をして、一体感も出るし、お互い、格好良く見えるし、それで、夜になって抜け出して2人きりになったり…という可能性も、十分考えられます（実際、そのようなケースで苦しんだ人々を見ているので〜）。

チアのLIT等は、そのあたり年々、厳しくして、またLITスタッフの間で深いコンセンサスもあるので、細心の注意を払いながらのマネージメントが可能になっています。そこはきちんとしていこうと、マネージメントチームで気を使いつつ、LITメンバーを指導しています。でも、他団体を紹介し、派遣する場合は、そのあたり委ねるしかありません。

もちろん、みんな良いことをしようとしているので、他の団体と共に協力しあって、展開していきたい思いもあります。それでまずは、今回は、実際の現地での様子を見て、チアとしてはティーンに呼びかけ、合流させて大丈夫かどうか、決める判断をできればと思っています。

いずれにせよ、ボランティアをしたいと思う気持ちは素晴らしいし、今、被災地で起こっている姿をぜひ、その目で見て、はだで実感してもらいたいとは切に思っています。チアの3つの目的の2番目である「キリストの弟子の心を養う」ことにマッチするいいことであると思います。

慎重に、そして勇敢に動ければと思っています。チアとしてのティーンへの派遣は、少し先になるかもしれませんが、確実に準備していこうと思っています。お祈りください。

焦らず、長期的なスパンでの応援

以前、ニューオーリンズで、ハリケーン・カタリナの洪水があり、長男の真祈史が2年後にボランティアに行きました。遅すぎるのではと思いました。でも、長さ10センチ以上に伸びた、真っ黒なカビが密集する家の掃除から始まり、たくさんの仕事があったそうです。原発事故等、あまり心配ないエリアやタイミングですが、1人でも多くの若者たちに、現場を見せたいと感じています。また、1人でも多くの皆さんと、被災地の皆さんの痛みを共有し、微力であっても、何か、その必要に貢献していければと思っています。

5 我が家の3人の子どもたちと1人ずつ過ごす

マガジンの締め切りを終えて、ジョセフ（2才半）に約束していた動物園に連れていけました。鉄道博物館も。真祈史は、日本から半年間、ロサンゼルスに伝道に来ていた兄弟と一緒に、学校伝道と、「シックスフラッグ」というローラーコースターだけのテーマパークに行けました。どこかに連れていきたいと思っていたので、実行できてすごい感謝だし、とても楽しかったです。エミリ（14）とは、映画「ソール サーファー」を



我が家のにわとり、プリンキーと仲良しのジョセフ（2才半）。プリンキーはジョセフにどう抱っこされても喜びます

見に行き、僕は涙、涙でした。ホームスクーリングしているサーファーの全米チャンピオンがサメに片腕食べられ、その後、神様に祈りながら、世界5位へと復活していく、実話に基づいた作品です。エミリは「もう一度、観たい」と何度も言っていました。そんな時間を子どもたちとも過ごせました。

イントロで紹介したコロラド州でのミーティング、日本だけでなく、広い世界での支援と伝道への会議でもあり、とても勉強になりました。ある企業の会長さんが、もう少し話しをしようということで、プライベートジェット機で、パーバンク空港まで一緒に連れていってくれました。

今回の出会いは、世界宣教の面で、25年来の祈りの答えをみるような会でした。具体的には後ほど、お伝えできればと思いますが、今後、どのような展開になるか、とても楽しみです。

このような悲しみの震災体験と、原発事故の中ですが、皆さまへの神様からのますますの祝福を祈っています。

喜ぶ者と一緒に喜び、泣く者と一緒に泣きなさい。 (ローマ12:15)

「あなたがたのうちだれかが、その人たちに、『安心して行きなさい。暖かになり、十分に食べなさい』と言っても、もしからだに必要な物を与えないなら、何の役に立つでしょう。」（ヤコブ2:16）

「私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。」（ピリピ 4:13）

明日から、第2回チアの被災地派遣で出発です。祝福をお祈りください。

感謝しつつ

稲葉 寛夫

HSLDA（ホームスクーリング法律擁護協会）の皆さんとのミーティングが祝福されて、全米のホームスクーラーたち（約300万人）に復興支援のための祈りと義捐金を呼びかけてくれることになりました。そして、マイク・ドネリー弁護士が、早速、記事にして、全米のリーダーやHSLDAメンバーたち、8万家族に発信してくれました。

HSLDA記事

日本のホームスクーラーたちが、被災地の支援活動で用いられる！

The screenshot shows the HSLDA website interface. At the top is the HSLDA logo and navigation menu. Below is a 'Start here.' section with a search bar and a 'Clicks Chromechooling' logo. The main content area features a news article titled 'Homeschoolers Help Amid Devastation' with a sub-headline 'Japan'. The article text discusses how homeschoolers are helping in Japan after the earthquake and tsunami. There is a photo of volunteers packing supplies and a 'Can You Help?' section with another photo of a family receiving aid.

HSLDA（ホームスクーリング法律擁護協会）ホームページより
<http://www.hslda.org/hs/international/Japan/201104040.asp>

「神さまは、被災者の必要のために、ホームスクーラーたちを用いておられます」と、チア・にっぽん代表の稲葉寛夫氏が答えてくれました。チア・にっぽんは、日本において、ホームスクーリングを啓蒙している全国的な団体です。3週間半前に巨大地震と大津波に襲われた日本において、チア・にっぽんやホームスクーラーたちにも、変化が訪れました。「チアのメンバーから緊急の電話が続きました。安否確認と共に、被災者の方々に緊急支援を続けているチアのメンバーたちや、そうした働きを助けようとしているメンバーたちから。それで、チア・にっぽんでは、食料、義捐金、そのほか生活用品を送り、支援をするように導かれていきました」。

3月11日、日本を襲ったマグニチュード9の地震と、未曾有の大津波、そして原発事故は、人口1億3千万人の国において、40万人以上の人々が緊急避難する大惨事となりました。稲葉代表がHSLDAに語ったところによ

ると、「被災地には、約80家族のチア・にっぽんのメンバー家族、教会の皆さんがいます。幸い、津波からは、守られた方々がほとんどでした。つながりのある教会の中には、全部流され、教会の兄弟を失ったりされたところもありますが、、、。原発事故のエリアで避難して、まだ、直接が連絡取れてない家族も、何家族かはいます。それから、被災地から、今も遠くへと避難してる家族も何家族かいます」。仙台市は、震源に最も近い都市です。稲葉代表らチア・にっぽんのチームは3月下旬に仙台や福島県を訪れ、自宅を失い、避難している人々に食料等、支援物資を持って行ったとのことでした。

巨大地震と大津波で被災した日本の多くのホームスクーラー家族は、それぞれの地域で隣人を助けようと活動しています。サマリタンズ・パースや、ワールド・ビジョン、国際飢餓機構といった多くのクリスチャン団体も、救援物資を配布しています。これらの団体が拠点として

いるのは、仙台市にある宮城明泉学園、チア・にっぽんと深く連帯してきた学園です。同学園は被災者支援の中継基地として、また、救援グループとして、大きく用いられ、活躍しています。



今回の大震災は、チア・にっぽんにも直接的な影響を与えています。

「今年5月から6月にかけて開催予定だった、12回目となるチア・コンベンションを延期することを決めざるを得ませんでした。原発事故問題の長期化や電力不足などによる混乱等がその理由です。東京でさえ、水から放射性物質が検出されたりし、政府も『予断できない状況は今後、数カ月以上は続く』と発表しています。計画停電の影響で、交通にも支障が出ていて、電車が不通となったり、都心から3、4時間かけて歩いて帰宅しなければならぬかとの不安をもった生活も続いています。例年300名ほどが参加していた、仙台のサマー・キャンプも今年は福島猪苗代湖で開催予定でしたが、延期せざるを得ない状況です」と稲葉代表は語っています。

「支援物資は、都市部の中心的な避難所では、比較的能力カバーされたといっている状況です。けれども、そこに取りに行けない地域や浜辺で自宅避難している多くの人々は、まだまだ苦闘しています。ホームスクーラーたちは、こうした地域に、個人的に出向き、支援を継続しているとのことでした。」

「僕たちはプロの緊急援助隊ではありません。僕たちは、日本でチャーチ&ホームスクーリングを啓蒙し、学校任せではない、親が責任をもって、子育てをしよう！と、家族・教育の原点、聖書が教える、本来のあり方に戻っていくことを手伝えるための団体です。だけど、今回は、なぜか、この東北の被災者の人々の悲しみを共有して、自分自身のあり方を悔い改め、何か被災者の人々のニーズにあうことを、微力でも自分たちにできることをしていこうって、導かれてきました。日本全国のホームスクーラーたちからも、不思議と義捐金が集まってきて、応援の気持ちを伝える業が開かれています。各地の避難所に物資を届けるだけでなく、自宅避難して、今も電気も物資もなく、すごく困っている人々や、福島原発の自宅避難エリアの人々、マスコミやボランティアでさえも、ほとんど行かないエリアの人々、また、岩手県北部とかの田舎の方で、まだ孤立状況で、一つの集会所で100人もすし詰めだったり、3週間もシャワーを浴びてない人に応援の気持ちを伝えるミッションが与えられ、開かれています」



HSLDAでは、支援のための資金を提供するため、チア・にっぽんと提携することにしました。HSLDA国際ナショナル部門代表のマイケル・ドネリー弁護士は、ホームスクーリング財団を通して、日本のホームスクー



物資を運ぶ堀井卓校長

ラーをサポートして下さるよう、世界中の家族に呼びかけています。

「ヒロとチア・にっぽんは偉大な業を行っています。痛みへの共感に基づいた行動、敏速な、そして礼儀をもった対応で、先月の巨大な地震と津波による、あの悲劇的な災害を体験することとなっている被災者の皆さんのニーズに応えています。ドネリー弁護士は言います。「皆さん、できるなら、私は心から皆さんを励ましたいです。どうぞ、日本のホームスクーラーたちを助けて、彼らが多くの人々を助けてあげることができるようにしてください。皆さんの祈りを通して、あるいは、経済的なサポート、義捐金を通して。よろしくお願ひします。」

東日本大震災 義捐金 受付口座

- 「郵便振替」：00190-3-35461 チア・にっぽん事務局
- 「銀行」：三菱東京UFJ銀行 赤羽駅前支店
普通 1446697
ホームスクーリング・ビジョン（株）



リビングライフ2011年1月号 掲載記事

チア・にっぽん — チャーチ&ホームスクーリングからの 靈的ムーブメント

稲葉 寛夫

教育の責任は親

チャーチ&ホームスクーリングとは、学校任せではなく、親が主を恐れ、愛する教育に責任を持ち、祖父母、教会、クリスチャンが助けていく、家族・教育が聖書に立ち返るムーブメントです。

1980年代、アメリカで広がったムーブメントは、現在、300万家族に広がり、世界に拡大しています。日本では、宣教師家族を中心に行われてきましたが、2000年、チア・にっぽんのスタートを機に、全国的な拡大が始まりました。

週2時間からのチャーチ& ホームスクーリングから

「形よりも本質を」ということで、スタイルは様々です。公私立の既存の中小高校ではなく、家庭で教育を行う文字通りのホームスクーリング、教会に数家族単位で集まって学習するチャーチスクール、また、親が責任を持つという意識をもって、「週2時間からのチャーチ&ホームスクーリング」といった方法等で広がっています。

学習カリキュラムは、聖書学習以外は、既存の学校のカリキュラム、教材に準じるケースが多いですが、聖書の教えに反する要素を吟味し、見分け、聖書に立って生きる姿勢を教えています。魂の救い、キリストの弟子の心を与える、伝道・世界宣教が目的です。

チア・にっぽんの活動 — セミナー&キャンプ、 出版、映画展開

チア・にっぽんは、2000年4月、「チャーチ&ホームスクーリングセミナー」に、625名が集まってスタート。その後、これまで、海外の講師を招いて5月にコンベンション、11月には「励ましとチャレンジセミナー in 白馬」を行ってきました。8月には、「チア・サマーキャンプ in 仙台」も開催、この3つの全国レベルの企画を軸に、啓発と向上を図ってきました。

聖書に立つ教科書シリーズ（りか、世界史、聖書ほか）や子育て、夫婦のきずな、恋愛・結婚等を扱った書籍の翻訳出版、三浦綾子さんの絵本『したきりすずめのクリスマス』の刊行、ソニーらと共同して映画「ファイアー・ストーム」ほか聖書的・家族的な映画作品の全国試写会展開等を通して、広い角度からも、キリストのムーブメント展開を図っています。

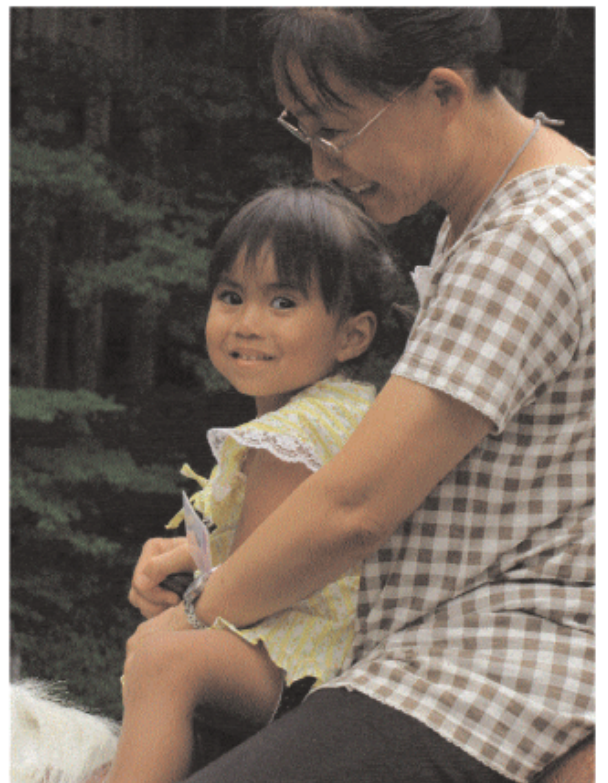
毎月のニュースレターは、10年で115号、オビニオンマガジン「チア・にっぽん」は33号に至りました。

これらの活動を通して、現在3000家族・教会、1万2千人以上のチ

ャーチ&ホームスクーラーらが、チア・にっぽんに関わってくださっています。

涙をもって種まき、 喜びをもって刈り取る教育 — 開かれる進学・就職の扉

10年が経ち、特にティーンたちが、チャーチ&ホームスクーリングを基盤に、クリスチャンとして信仰を深め、輝くように育ってきています。上述の3つの企画では、13-18才のティーンたちが、リーダーズ・イン・トレーニング (LIT) メンバーと



して、キリストの弟子の心を学び、ほかの参加者に、奉仕者として仕える訓練を受けます。キャンプでは、5日間泊まりこんで、約300人の参加者のための掃除、食事の準備とかけまわり、春のコンベンションでは、1300人あまりのセミナーや、チルドレンミニストリーのサポートにまわりつつ、新宿や難波駅前での路傍伝道等、ミッションの訓練に出かけ、喜んで帰ってきます。LITメンバーのユニフォームである赤いTシャツは、彼らに続く子どもたちの憧れであり、その従順さと愛と謙遜さをもって熱心に仕える姿は、親御さんたちを含め、大きな勇気を与えています。

大学進学・就職面でも、神様は追い風を送ってくれています。「高校卒業程度認定試験（高認）」が施行されるようになり、国公立大の扉が開かれただけではなく、将来、公務員等、高卒資格が必要な就職先にも用いられる制度ができました。チャーチ&ホームスクーラーの進学先としては、京大、静岡大、横浜国大、群馬大、早稲田大、ICU、上智大、中央大、独協大、玉川大ほか、ルーテル学院大、東京基督教大、生駒聖



書学院等の神学校系、ポップ・ジョーンズ大、オーラル・ロバーツ大ほか、留学系等、多岐にわたっています。

聖書が命じる教育とは

－ 親の模範から

聖書は、学校任せ、国や教育委員会に子どもたちを委ねよとは一言も書いていません。子どもたちの教育の責任は親にあり、その親を助ける使命が、祖父母、クリスチャン、教会にあると言います。

「主は私たちの神。主はただひとりである。心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。私がきょう、あなた（親・祖父母）に命じるこれらのことばを、あなた（親・祖父母）の心に刻みなさい。」（申命記6：4～6）

つまり、主を恐れ、愛することを親や祖父母が、まず自ら実践し、模範をもって教えよと命じています。

あきらめず、繰り返し教える

－ よく教え込みなさい

「これをあなたの子どもたちによく教え込みなさい。」（7節）

「よく教え込む」、すなわち、繰り返し、教え続けるということです。あきらめず、気を抜かず、失望せずに、主を愛し、恐れることを、繰り返し教え続けなさいとの命令です。

形よりも本質

－ 主の命令に従う、ホームスクーリングの原点

それでは、親は、いつ、どこで、教育をなすべきでしょうか。

「あなたが家にすわっているときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときも、これを唱えなさい」（7節）。

すなわち、24時間、犠牲を払い、あらゆる場面で教える、これが聖書が命じる教育の原点です。この聖書の教育命令、この命令に、ただ、はいと答え、従っていく、救い、世界宣教という「強い目的」を掲げて、悔い改めながら、聖霊の力で――。チア・にっぽんは、こうした家族・教育を助けつつ、イエス様の霊的ムーブメントに仕えていきたいと願っています。どうぞ、お祈りください。





チア・サポートスクール 4月12日 開校しました！



- ◆チャーチ&ホームスクーラー、ホームスクーリング・マインドの子どもたちの助け。
- ◆学力、実力、資格取得、チャーチ&ホームスクーリングライフのサポート。
- ◆聖書をベースにして、魂の救い、キリストの弟子の心を与える、伝道・世界宣教の目的達成への学業・実技面からのヘルプ。

授業時間枠が拡がりました！ 遠距離の皆さんのご要望にお応えしました！

- 一般科目 9時30分～12時45分 ※授業は1コマ45分。
- 英語 (GS) 9時30分～15時 ※ご希望の曜日・時間をお選びください (現在、火～木の午前
に4セッションを予定しています)。

♪ 早期申し込み (第一弾5/9まで) 授業料ディスカウント、♪ チャンスを、お見逃しなく！

5月9日までお申し込み1期生… ディスカウント月謝：1セッション 3000円 (1年間有効)
授業料はできるだけ安く設定しますが、**8月31日まで**2期生授業料、**9月1日以降**、通常授業料 …、
と授業料に若干、差を出さざるを得ません。それで早期ディスカウントのご利用をお薦めします。兄弟割引、
2限め、3限め以降の割引 (スライド制) や英語 (GS) と一般科目の授業料の違いなどあります。詳細は、
CSS事務局に遠慮なく、お問い合わせ、また、資料をご請求ください。

現在、「個人面接」受付中！

面接、始まりました。ご希望の方は、下記にご連絡ください (随時受付)。
すでに、12家族の面接・電話でのカウンセリングが終わり、皆さんのご意見、ご要望、具体的な時間割を作成
しています (4月20日現在、生徒数20名)。

- 面接内容**
- チア・サポートスクールへのご質問、体験クラス
 - お子さまの将来のビジョンに向けたカリキュラムの作成

面接は、無料ですので、お気軽にご連絡ください。

チア・サポートスクールは、ホームスクーラーのサポートを目的としていますので、通学されなくてもご相談
だけでも、大丈夫です (※電話やメール、スカイプでもご相談をお受けいたします)。

**チア・サポートスクール本校所在地：東京都世田谷区赤堤4-41-5
京王線 下高井戸駅 徒歩2分**

各 申 込 書

(FAX 03-5300-0872) www.cheajapan.com

GrapeSEEDの資料希望 (無料)

チア・サポートスクールの資料希望 (無料)

お名前 _____

ご住所 〒 _____

TEL _____ FAX _____ e-mail _____

お問い合わせはメールかお電話で。

e-mail : horiit@arkvillage.com TEL 03-5300-0820 担当：堀井卓まで

7/11 ザ・学習・交わり & バスケットボールスペシャル チア・関東ミニ学習会 フリースロー大会 開催！ 入賞者には賞品あり！

久々の再会のチャンス！ 大震災後のミーティング、キャンセルが続きました。でも、7月の学習会は、半日なので、集まって、祈りあったり、学習したりできればと思っています。今から、スケジュール、入れておいてください(^o^)!

日時：7月11日（月） 開場：午前10：00 スタート：午前10：30 終了予定時刻：午後3：30

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京・代々木） センター棟401号室 集合

スケジュール：

午前 ☆東日本大震災関連の祈り会

「自学自習」 & 「効果的学習ワンポイント+交わりタイム」

☆久々に自学自習タイム：各自、自由に教材を選び、お持ち下さい。

☆3人が見つけた、効果的な学習法！（能登麻里サポートスクール・スタッフ、堀井卓サポートスクール校長、稲葉寛夫）

午後 **「藤井一朗さんによるストレッチ体操」 & 「バスケットボール・スペシャル！」**

最初は藤井一朗さん（九重部屋トレーナー）によるストレッチ体操等を30分ほど行い、約1時間半がバスケットスペシャルです。学生時代、バスケット部で活躍されていたホームスクーラー、辻奈央子さん、桐山壘さんらが、バスケットコーチをしてくれます。

- ☆ ドリブル&フリースローの基礎練習と、ドリブルリレー、ドリブル生き残り大会、フリースロー大会などお楽しみ。
- ☆ フリースロー大会などは入賞者に賞品あり。
- ☆ 対象者は小学生以上の参加希望者。
- ☆ クラブに参加しない小学生や乳幼児の別途プログラムあり。



参加対象：どなたでも大歓迎です。積極的にご参加ください！

持ち物：体育館シューズ、運動できる服装。親御さんも一緒にどうぞ！

参加費：大人（中学生以上） 700円+590円（食費実費）+200円（バスケットクラブ活動費）

小学生以下 500円+540円（4歳以上は食費実費）+200円（バスケットクラブ活動費）

※郵便振替、あるいは銀行振込にてお支払いください。

■「郵便振替」：00190-3-35461 チア・にっぽん事務局

■「銀行」：三菱東京UFJ銀行 赤羽駅前支店 普通 1746716 ホームスクーリング・ビジョン（株）

7月11日（月）第13回 関東合同ミニ学習会
参加申込書 ⇒ FAX 03-6862-8648 メール：office@cheajapan.com

ふりがな 代表者ご氏名	(携帯) お電話	
ご住所 (〒)		
参加費 大人（中学生以上） 1290円 × ()人 子ども（4歳以上） 1040円 × ()人 子ども（3歳以下） 500円 × ()人	■バスケット 参加希望人数 200円× ()名	
合計 ()円		
参加者ご氏名&性別&年齢		
ふりがな	男・女 歳	男・女 歳
ふりがな	男・女 歳	男・女 歳



今年は白馬に集まりましょう！ どなたでも大歓迎！

- ◆家族のきずなの回復。そして、教育の原点、聖書に立ちかえる体験
- ◆北欧調リゾートホテルで100種類のバイキング
- ◆11種の温泉
- ◆徹底学習（約50の基調講演・分科会）
- ◆家族・教育の目的、情報、励ましとチャレンジが与えられる！
- ◆家族・チャーチスクール・仲間との一生の思い出！

**基調講演者は、エリザベス・スミス (Elizabeth Smith)
HSLDA (ホームスクーリング法律擁護協会) 代表夫人に決定！**

4年越しのアプローチ、実る！

エリザベス・スミスさんは、マイク・スミスHSLDA代表夫人として、300万人あまりに拡がり続ける、全米のホームスクーリング・ムーブメントを支えてきました。まだ、ホームスクーラーがほとんどいなかった1981年から1996年、末の子どもさんが大学に入学するまで、4人の子どものうち、3人をホームスクーリングしました。25年に亘って、全米各地でのコンベンション、教育セミナーの講師として活躍。また、長年、ホームスクーリング財団の代表や、「とりなしの祈りミニストリー」の理事としても仕えてきました。「アフリカ系アメリカ人ホームスクーリングの会」創設メンバー、そして、「家族」を守るために首都ワシントンD.C.の上下院議員らとの深い絆を持ち、全米ホームスクーリング機構のために労してもいます。



「講演予定」

- 「バランスのとれた家庭・夫婦、そしてホームスクーリング — 夫と妻への10のヒント&妻が夫に知っている
もらいたい、ホームスクーリングのポイント」 "Balancing Home, Marriage, and Homeschooling"
- 「危機（ストレス）管理と結婚生活を長い目で成功させるために」
"Crisis Management and Marriage for the Long Term",
- 「ホームスクーリング成功への5つの秘訣」 "Five Essential Ingredients to Successful Homeschooling"
- 「子どもたちの魂を訓練する秘訣」 "Training the Soul of a Child"
- 「ティーンをホームスクーリングすべき10の理由」 "Ten Reasons to Homeschool Teens"

Elizabeth Smith, wife of Home School Legal Defense Association President Mike Smith, taught three of her four children at home from 1981 to 1996, when the youngest entered college. For over 25 years, Elizabeth's practical wisdom has encouraged audiences at homeschool conferences, symposiums, and women's retreats throughout the United States. Elizabeth serves on the board of directors of Breakthrough Intercessors Prayer Ministry. Elizabeth has lobbied on pro-family issues in her state capitol and in Washington, D.C., for the National Center for Home Education since 1993.

<http://www.hslda.org/speakers>

* 第2回 チア・にっぽん杯 * 絵画コンクール

白馬セミナー会場で表彰式&展覧会 入賞者には賞状・賞品あり！

昨年、初の試みとして開催した絵画コンクールには、見る者の胸を打つ感動の力作が多数寄せられ、大変好評で、コンベンション、サマーキャンプ、白馬セミナー、チア・マガジン&HPらで、展示、掲載されました。その第2回目を今年も開催いたします！

今年も作品のテーマは「聖書」。聖書のどの場面でもOKですので、自由に想像をふくらませて絵画に描いてみてください。表彰・展覧会は、白馬セミナー会場です。入賞者には、チアからの賞状とチア・メンバーからの賞品あり！ どなたでも大歓迎です！ お待ちしています！

<応募要項>

■**テーマ**：聖書のストーリーから題材を取り、自分のイメージを絵画にしてください。

■**部門**：(1) 小学生の部 (2) 中高生の部
(3) 一般の部

■**作品のサイズ**：自由（画材は油彩、水彩、クレヨン、ペン画ほか自由です）

※【下記の項目を作品の裏にご記入頂き、ご応募下さい】
氏名(フリガナ)、住所、学年、年齢、性別、電話番号、
絵のタイトル、その絵を描いた理由(100字以内自由)

■**応募締切**：11月1日（火）

■**送り先**：〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103 チア・にっぽん事務局 「絵画コンクール」係



第5回

「グランプリ！大会」開催！

◆◆ 今年も「スピード部門」と「美術部門」の2部門 ◆◆

自作のレースカーで競い合うグランプリ大会を、今年の白馬セミナーで開催します!! 白馬でも、レースカーキットを実費販売しますので、2日目の夜までに完成させての参加もOkです（500円。大人も子どももエントリー自由!）。参加資格は、今年度制作のレースカーです。

昨年に引き続き、今回も「スピード部門」「美術部門」の2部門で競います。「美術部門」コンテストの郵送受付は11月10日まで。郵送先はチア事務局へ（白馬参加の皆様はご持参ください）。

作品は白馬セミナーで展示し、優秀作品は表彰させていただく予定です。チアのファミリーを励ましたいという、ある有志の方の提供により、グランプリ大会参加者には豪華賞品あり。また、あるボランティアのご家族が、グランプリ特設コースを製作してくれました。

レースカーキットは、誰でも作れます。形や色も工夫できます。車軸は差し込むだけなので、トンカチ必要なし。お母さんや小さい子どもたちでもできる楽々セットです。気軽に、こぞってご参加ください！ 工作・技術の向上はもちろん、素晴らしい家族の思い出にもなりますよ！

現在、キット（500円）の予約申込を受付中です。ご希望の方は、お名前、ご住所、お電話番号、希望個数を明記の上、メール（office@cheajapan.com）、またはFAX（03-6862-8648）でお申込みください。

第5回チア・にっぽん杯 入賞作品1

一般の部 チア・にっぽん最優秀賞

「道ありき」——主の山に備えあり ギンター 千為子

その夜、私は福井県の東尋坊を目指し、猛スピードで車を走らせていた。私は死にたかったのだ。

(私の生命など、いったい何だというのだろうか。私など、いてもいなくてもどっちでもいいような、何の益にもならない人間ではないか。)

長く続く暗闇を突き抜けると、海岸線の松林のすぐ側に車を止めた。海岸から吹きつける風で、松の木が右へ左へと揺れている。

(死んだらどこに行くのだろうか。)

ふと、考えた。

(天国に行かないことだけは確かだ。では地獄なのか。地獄かどうかわからないけれど、きっと辛くて苦しい所に行くのだ。)

そんな予感が、その時私にはした。結局、その夜私は死ななかった。死ねなかったのだ。けれども生きる目的、造られた目的を知らずに、人はどうして生きることができるだろうか。その後、程なくして三浦綾子の「道ありき」を手にとった時、著書の中で、

「生きるということは、権利ではなくて義務なのですよ。」

という前川正の一言が心に深く響いてきた。死ぬのが怖かった私は、生きていながらも死んだと同じ様な、投げやりな怠惰な生き方をずっとしてきた。けれども「ほんとうの意味で『生きる』ということは、そんな生き方とはまるで違う、自分に与えられた使命を力の限り生き抜くことなのだ」とその時私は思った。そして、ぼんやりとはあったが、「神」なる存在が、どうしても私には必要なのだと思い始めるようになった。その後、ある人を通して教会のメッセージテープを聞くようになり、私は救われた。私という存在は目的があって造られたのだということ、どんな時も愛されているということを知って嬉しくて嬉しくてたまらなかった。以来、どんなに辛い時でも、二度と死にたいなどと思ったことはない。また「道ありき」の別の箇所には「主の山には備えがある」と、この聖句も掲げられている。

神は私たち信ずる者に、必ず備えをされる。“チア・にっぽん”の存在を思う時、本当に、主が備えてくださった特別な使命を持つ、尊い働きだと思わずにはいられない。私達夫婦は、結婚する前からホームスクールで子どもを育てることに決めていた。たとえ他に誰もホームスクールをしていなくても、絶対にしようと思っていたけれども、実際始めてみると孤独になったり困難にぶつかったりして、落ち込むこともしばしばだった。そんな時、マガジンやセミナーを通して、どれ程励まされ、慰められてきたか知れない。

子ども達が、友達を欲しがって淋しがったこともあっ



た。

「とにかく学校へ行けば、人がたくさんいるから友達が出るんじゃないか。」

と言うのだ。私達は、ただただ祈り抜いた。随分経ってから、先日長男の世岩が言った。「お母さん、ずっと前に祈った祈りが聞かれたよ。気が付いたらこんなにいっぱい、ものすごくいい友達が与えられてた。神様はほんとうにすばらしいね!」。次男の汀持も白馬セミナーで知り合った友人と、毎週のようにメールを交換し、友情を育てている。

また、チアの働きを通して、教会でもチャーチスクールが始まり、親子共によく集まって励まし合い、祈るようになった。教会が生き生きと動き出したことも非常に嬉しいことだ。書籍やDVDの貸し出し、白馬セミナーの宿泊費の補助までいただけるようになり、言葉にならないほど助けられ、励まされてきた。

経済的に厳しくて、白馬セミナーに行くことがとても無理だった時も、子ども達は諦めずに何度も祈った。そしてついに何度か参加できるようになったことも、神に感謝せずにはいられない。

最近の嬉しい出来事は「給食おばさん」なる存在を与えられたことだ。おばさんは、私達がホームスクールをしているということを知って、「それなら私が給食を持って行ってあげるよ」と自分の方から申し出てくれたのである。その食事がなんともまた、格別に美味しいのだ。こんなことはホームスクールを始めた当初は、思いもよらないことであった。

ほんとうに、主の山にはいつも必ず備えがある。主は常に良いお方である。私達のすべきことは、主から受けた計り知れない大きな恵みと、キリストの真実な愛を一人でも多くの人に手渡すことである。

“チア・にっぽん”の働きが「死から生命へ」暗闇の中のひとすじの光として、日本中を、さらには世界の隅々までも駆け巡り、力から力へと貫き通されるよう切に願い、祈り続けていきたいと思っている。

第5回チア・にっぽん杯 入賞作品2

中高生の部 チア・にっぽん最優秀賞

「母なるあなたへ」を読んで
小畑百合花（高1）

私がこの本を読んでいつも思うことは、母さんってすごいなあ、ということです。

母親であるということは、どんな仕事も比べものにならない程忍耐が必要で、大変な仕事だと思います。

私がどんなに反抗し、親の言うことを聞かなくても、心から愛し、赦してくれる。父さんが仕事に行っても家にいないときは、私たち子どもを守ってくれる。勉強だって教えてくれるし、色々とおアドバイスもくれる、素晴らしい母さんです。

本当に母さんはすごいです。

それなのに母さんはいつも謙遜です。あたかも自分は何もできないかのように振る舞い、決して自分のことは表面に出さず、他の母親たちのことをものすごく褒めたりします。

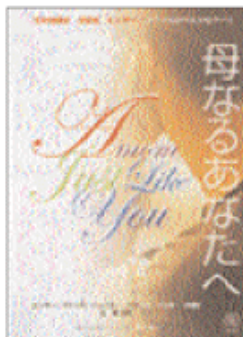
そういうところもすごいなあと思います。

この本の著者、ピッキー・ハリスさんも同じようなことを言っています。

「私はあなたと同じようなひとりのごく普通の母親にすぎません。」と。

これを読んだとき、「どのお母さんもみんな同じことを思っているのかな？」と考え込んでしまいました。

私にとってはどんなお母さんも本当に素晴らしいです。私だったら、自分を犠牲にしてまでホームスクーリングはできないと思います。でもピッキーさんも、「神様の恵



みなしではできません。」と言っています。

私はその文章を見たときに、母さんはどんなことでも神様に委ねて祈っているから、いつも素敵な母親でいられるんだということに気がつきました。

そして、私もいつか母さんみたいな素晴らしい母親になりたいなあとも思いました。

最後に、母さん。

全然文章もまとまらなかったし、とっても短いけれど、この感想文は母さんのために書きました。

本で言ったら、「この本を最愛の母さんに捧げます。」という感じです。

今まで父さんや母さんに言われたことにもあまり従わず、悲しませてきてしまっておめんなさい。

そして、こんな私をいつも愛してくれてありがとう。

いつもは恥ずかしくてなかなか言えないけれど、大好きだよ。

母さんは最高です。心から、ありがとう。

私は、母さんが母さんだから大好きだよ。



百合花さんの洗礼式の午後

第6回 チア・にっぽん杯 読書感想文大会 募集中！ 締切：11月1日

良書を読むこと、感想文を書くことは、神さまの栄光を現す力となります。昨年も40作品以上の素晴らしい作品の数々が寄せられました。今年もたくさんのご応募、お待ちしております！

- ◆対象作品：三浦綾子作品（どれでもOK）、あるいはチア書籍（どれでもOK）
- ◆部門：（1）小学生の部（400～1600字）（2）中高生の部（800～2000字）（3）一般の部（800～2000字）
- ◆締切：11月1日（火）
- ◆発表・授賞式：11月17日（木）夜7時 白馬セミナー会場（予定）
- ◆送り先：〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103 チア・にっぽん事務局 「読書感想文係」
（※メールでも受け付けています →office@cheajapan.com）

い な ち ゃ ん の

お薦め映画ライブラリー

先月までの60作品の詳細はwww.cheajapan.com 映画ライブラリーコーナーへ

東日本大震災の影響で日本は、未曾有の体験をしています。こうした中で、最近のムービーガイド賞で受賞した作品から、混乱していく社会への生き方の一考になるかなと思える2作品を紹介します。

ムービーガイド賞受賞

「96時間」

ティーン、日本の女性たちに見せておきたい闇社会の恐ろしさ
ロコミで、大ロングランとなった実力作！

この作品は、中高生以上のティーンや若い皆さんや、その世代の子どもたちを抱える親御さんたち、日本の女性たちに、『危険』から身を守るために、ぜひ観ておいてもらいたい作品です。

アメリカでは予想を超えて9週連続トップ10の、ロングランで大ヒット、フランスや韓国でも大ヒットとなった作品です。

友だちと初めてカリフォルニアからパリへの旅に出た17歳の娘、キム。彼女たちは、空港で言葉巧みな男性のワナにかかり、裏社会の犯罪組織にさらわれ、麻薬漬けにされ、闇市場にかけられることとなります。おそるべき人身売買組織に、父親が立ちあがり、娘の救出をめざす作品です。

なぜ、欧米で大ヒットとなったかということ、とてもリアル、身近な生活、現代社会に潜む危険な状況とマッチし、その中でベストを尽くして挑んだ父親の姿は共感と呼んだからです。なぜ、ハイティーンや親御さんたち、日本の女性たちに観てもらいたいかということ、これは、『現実』を、しっかりと実感し、学習しておいてほしいからです。世界各国のティーンや若者、女性たちを取り巻く『危険』というのが、どれだけ深いものであるかということ



この映画に出てくる組織犯罪は、アメリカを始め、海外の多くの国々で、日常茶飯事です。日本でも、そうした犯罪傾向は、今後、増えていくでしょうから、日頃の防御策としてもぜひ、観ておいてほしいなと思いました。

主演のリーアム・ニーソンは、「ナルニア国物語」シリーズで、イエスの愛と犠牲の意味を示したライオン、「アスラン王」の声を演じています。娘の携帯からの短い連絡で、父、ブライアンは、最愛の娘の危機を知ります。過去のデータをもとに、96時間以内に救出しないと娘は助からないと直感し、急速、パリに向かったブライアンは、砂漠の中で一粒のダイヤモンドを捜すような過酷な挑戦へと向かいます。

ストーリー展開、アクション、父の勇気、犠牲を払っての救出といった面でも楽しめますが、やはり、今後の人生のために、闇組織の恐ろしさを学んでおくためということで、お薦めします。暴力シーンもあり、そこは薦められませんが、アメリカのランクで、13才以上で、親の指導を得ながらであれば、観て良いとされるPG-13に入っているレベルなので、中高生以上であれば、耐えられるかと思えます。



犯罪組織に対して、容赦ない暴力で立ち向かう父であったり、悪いことば使いが入っているところも薦められないので、注意が必要です。そうしたマイナス点がありますが、この現実を知っておいてもらいたいし、また、完全とは言えませんが、娘を助けようと、できるベストを尽くした父の姿も、大事なメッセージでもあり、ぜひ、観て、話し合ってもらったらと思いました。ムービーガイド賞受賞作品。1490円と最近、廉価版が出たことも、お薦めの理由の一つです。

番外編
大人向け作品

「ザ・ウォーカー」 2011年度ムービーガイド賞受賞

ノンクリスチャンにここまで響く、聖書を運ぶ近未来作品

この作品は、終末の世界でいかに「聖書」が必要とされていくか、私たちの手に今は簡単に手に入る「聖書」の価値感を体感する上で、力作といえる作品で、アメリカの映画通のクリスチャンの評判はとても高いです。テーマが優れていて、評価の高い作品ですが、戦いのシーンが、黒澤明作品なみというか、激しいシーンがあり、「いなちゃんのお薦め作品」からは、はずれていました（黒澤明監督は最も尊敬する監督の一人ですが、...）。「聖書」の重さがわかるし、クリスチャンであることを堂々証しする、アカデミー賞受賞者のデンゼル・ワシントンらの好演も光るので、もったいないな一との思いでした。でも、このタイミングでは、「番外編」として観ておいてもらってもいいと思い、再リサーチして驚きました。ノンクリスチャンの皆さんの「聖書」を含めた評価が高いのです。その意味でも、観てもらっていいかなとも思いました。あらすじを簡単に紹介し、その後、著名人たちの評が面白いので伝えますね。



<あらすじ>

世界最終戦争を経て、崩壊したアメリカを旅する男（ウォーカー）イーライ（デンゼル・ワシントン）がいた。彼は、30年間もアメリカを西に歩き続けている。目的地は何処なのか、彼にもわからない。ただ、「本（聖書）を西へ運べ」という神の声に導かれるままに歩き続ける。

一方、地上ではすべて焼却されたとされる「聖書」を探し続ける独裁者、カーネギーがいた。彼は、滅びた地球に、自らが君臨する理想の町を作ろうと企て、聖書の知恵が必須だと感じ、捜し続けていた。その町に、イーライが立ち寄り、...

「人類の過ちを最後に救えるのは、やはり神だけなのだろうか」（漫画家「サラリーマン金太郎」等 弘兼憲史さん）

「過剰なほどに『本』が溢れている今の時代に、たった一冊の『本（聖書）』の価値を問う破滅的近未来の物語を観る事は、現代を考える『鏡』となる」（漫画アクション編集長 染谷誠さん）

「息が詰まるほどの緊張感。『ウォーカー』が不屈の闘志で目的に向かう姿に感動し、共感した」（野球解説者 清原和博さん）

「まさに『デンゼル 三十郎』だ！ 世界最終戦後のアメリカ大陸、最後の本（聖書）を手に流浪するザ・ウォーカー。群がるハイエナどもをなぎ倒し、進む！ その格好良さにシビれた」（漫画家 藤子不二雄Aさん）

「数ある映画の中から、限られた時間でいま何を観ようかと選ぶ基準は、僕はまず主演俳優である。すぐれた俳優は、すぐれたシナリオを選び、すぐれた監督と仕事をするからだ。そしてエンディングまでその映画にのめり込めるか否か、それはスタートから5分で決まると思っている。この『ザ・ウォーカー』は、不思議な作品だ。最初から謎に満ちている。男はなぜ西へ歩くのか。それが僕を引きずりこむ魅力の一つになっている。主演はくせもくせもあるゲイリー・オールドマンとデンゼル・ワシントン。この二人の性格俳優が出演していて並みの映画のはずがない。エンディングであなたはきっと僕と同じように、そこはかたない未来への不安と、なにより神聖なる希望に満ちているだろう。なぜなら、この映画は現代の聖書なのだから」（漫画家 寺沢武一さん）

「本当に面白かった。久しぶりに現れた大人が魅せられるアクション映画！ 昨今のアクション映画には見られない完成度の高さと、最後まで、釘付けでした。今、日本にかけているのは「責任感」と「プロ意識」。ウォーカーが体現する両者は、責任感の欠如がはびこる現代に、警鐘を鳴らす映画になっていると思います」（劇作家『ゴルゴ13』ほか さいとう・たかをさん）

「サスペンスアクションとして、出色の作品だ。だが、心にのしかかってきたのは、彼が運んだ『本（聖書）』の重さだ」（経済アナリスト 森永卓郎さん）

「マトリックス」のジョエル・シルバー製作。主演のデンゼル・ワシントンは、クリスチャンであることを公言しつつ、ハリウッド作品の主演クラスを次々と演じている稀有の存在。彼が、聖書全巻を朗読した作品も好評です。今年1月に公開された「アンストッパブル」も、いつか紹介したいと思っています

アクションシーンの描き方で注意点がありますが、聖書の重さ、緊迫した世界でも、使命に生きるときの神様の助け等、励まされる作品です。番外編、大人向け作品としてお薦めします（2940円）。

「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」

試写会 受付中！

100週連続1位 (アメリカ・クリスチャン書店)
 「ファイアー・ストーム 決断する愛—夫婦の危機を救う40日プラン」
 SONYピクチャーズとチアとのコラボレーション！

〈 主催者の声 未信者の方にも大好評！ 〉

50人ほどの方が参加されて、12人が未信者の方で感謝でした。上映後、ティータイムを持ち、「とても良かった」「来て良かった」とおっしゃっておられました。お世話になり、感謝しております。「フェイスング・ザ・ジャイアント」に感動した教会員も多く、近隣の方々に「フェイスング・ザ・ジャイアント」もご紹介したいという声があがっています。チア・にっぽんのお働きの上に、主のお恵みが増し加わりますようにお祈りしています。(2月26日 調布バプテスト・テンプル 石川敦子)

＜教賀自由キリスト教会での試写会＞

・とても面白く、笑えて良かった。多くの人の命を救いながら、妻1人を愛せない苦悩と葛藤が衝撃的でした。無条件とは、こういうものだ、リアルに教えられ、チャレンジを受けました。やはり救い、赦し、愛するシーンでは涙が出ました。神様の愛に改めて感謝と感動でした。(40代 女性)

・私は結婚して34年。この映画は夫婦共に苦楽を共にし、時には挫折しながらの日々。どこにでもある話ですが、お互い助け合って支えていく。40日間の日々はムダではなく、最後は最高の夫婦となっていく。私も日々、主のみことばを勉強しつつ祈る日々を送っています。とても感動の映画でした。(50代 女性)

・とても良かったと思います。友人、知人、同世代のみんなに観てほしいと思いました。クリスチャンが本当の愛と赦しをしっかりと受け取って、愛する人々に伝えていきたいと思いました。(30代 女性)

・夫婦の危機はいつでも起こるものだが、忍耐をもって愛を示すことの大切さを改めて感じました。イエス・キリストを示す大切さと、福音に感謝。(40代 女性)

・夫婦で一緒に見に来て良かった。毎日、反省、反省!! (50代 男性)

・良かったです。神の愛、キリストの愛と人間(夫婦)の愛の関係というのが、とても上手く描かれていたと思いました。聖書のことばもそのまま入っていて良かったです。伝道にもとてもよいと思いました。ケイレブが火の中から救うように、イエス様は私を罪と死の中から救ってくださったのかな、と思いました。上映会をしてくださって感謝します！(20代 女性)

・全部で4回観ましたが、全て泣きました。友達にも本当に観てほしいです！必要な人々がたくさんいると思うので、この映画がもっとこれからも用いられますように、と思います！(30代 女性)

・結婚も思いやりと耐えることが大事。良き友人が立ち直らせたのだと、その大切さがわかりました。家族の大切さも知らされました。

・映画を見てよかったです。家族にも見てもらいたいです。今日は来て良かったです。神様は素晴らしいです。(30代 女性)

たくさんのお申し込み、ありがとうございます。小規模で大歓迎ですので、ぜひ、お申し込みください！DVDは、ご家庭等、個人的な場所での視聴以外、無許可で集会、教会等における上映会は、禁止されています。でも、「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」については、チア・にっぽんが正式な窓口となって、ソニー・ピクチャーズ社に申請する道が開かれました。「上映&DVD販売会」という名目で許可を得る方法です。主に祝福された素晴らしい機会となると確信しています。

まずは資料をご請求ください。既に実施済みの教会、団体からは多くの感動と祝福のレポートが多数、寄せられています。皆さんの教会でも、両作品からの大いなる福音伝道の業が、広がっていくことを心から祈らせていただきます。詳細・問い合わせはチア・にっぽんまで (Eメール: kuwatani@cheajapan.com FAX03-6862-8648)。申し込み詳細は、HPでもチェックできます。www.cheajapan.com。お申し込みをお待ちしています！

試写会 「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」

感動の声、続々！ 開催してみませんか？

(無料！少人数OK！) お申込みはチャまで！

<今後の予定>

「ファイアー・ストーム」

■ 5月8日 (日)

兵庫 神戸西バプテスト教会 078-708-9556

■ 5月14日 (土)

北海道 中札内初穂キリスト教会

■ 6月5日 (日)

大阪 寝屋川キリスト教会 072-828-5866

<開催いただいた教会・団体>

「ファイアー・ストーム」

- 仙台 チア・サマーキャンプ
- 長野 チア・白馬セミナー
- 千葉 おゆみ野教会
- 東京 久我山キリスト教会
- 東京 福生ベテル教会
- 東京 日野キリスト教会
- 埼玉 ベテル・バプテスト教会
- 静岡 第45回教役者大会 (ヤマハリゾート)
- 東京 武蔵野EFC教会
- 静岡 キャンパス・クルセード (ヤマハリゾート)
- 東京 クロスロード・インターナショナル葛西教会
- 滋賀 ジーザス・ハウス守山教会
- 埼玉 ANRCセミナー (ヘリテージ・リゾート)
- 札幌 ICF教会
- 石川 小松ベタニヤ福音教会
- 滋賀 東近江キリスト福音教会
- 静岡 VIP浜松
- 愛知 名古屋グローリアスチャペル
- 茨城 水戸第一聖書バプテスト教会
- 岡山 西大寺キリスト教会
- 北海道 札幌キリスト福音館
- 北海道 札幌キリスト福音館栗沢チャペル
- 千葉 千葉グレイスチャーチ
- 神奈川 横須賀キリスト教会
- チア・コンベンション (関西・東京)
- 岐阜 海津キリスト教会
- 神奈川 青葉台ナザレン教会
- 東京 東京ライトハウスチャーチ
- 大阪 阿倍野キリスト集会
- フォースクエア教団 (年次総会)
- 愛知 名古屋グローリアスチャペル (2回目)
- 熊本 有明バイブルチャーチ
- 大阪 JECヒルズチャーチ
- 岐阜 海津キリスト教会 (2回目)

- 埼玉 JEA心のオアシスリトリート
- 埼玉 KFG志木キリスト教会
- 神奈川 City Vision Glory Church
- 福井 敦賀自由キリスト教会
- 東京 東京シティチャーチ
- 静岡 インマヌエル綜合伝道団浜松キリスト教会
- 東京 インマヌエル中目黒教会
- 東京 シオン・キリスト教団 蒲田教会
- 宮城 仙台福音自由教会
- 埼玉 Shalome Community Church
- 福岡 博多ニューライフ教会
- 岩手 RIM キャンプ
- 北海道 芽室キリスト教会
- 大阪 大阪クリスチャンセンター
- 福井 敦賀自由キリスト教会
- 宮城 仙台福音自由教会 (2回目)
- 群馬 桐生キリスト教会
- 兵庫 神戸中央教会
- 東京 太平洋放送協会
- 千葉 主イエス・キリスト千葉教会
- 東京 久我山キリスト教会
- 東京 調布バプテスト・テンプル
- 兵庫 広畑キリスト教会

「フェイスング・ザ・ジャイアント」

- 仙台 チア・サマーキャンプ
- 神奈川 Living Water Church
- 東京 日野キリスト教会
- 埼玉 ANRCセミナー (ヘリテージ・リゾート)
- FCMF(自由クリスチャン伝道団)
- 千葉 市原シャローム教会
- 青森 弘前キリスト集会
- 大阪 JECヒルズチャーチ
- 埼玉 KFG志木キリスト教会

メディア情報

- 北海道地区
HBC（北海道放送） 4/17(日) 5:00am
- 東北地区
ATV（青森テレビ） 4/16(土) 5:00am
KFB（福島放送） 4/16(土) 6:00am
- 甲信越地区
BSN（新潟放送） 4/16(土) 5:30am
- 関東地区
GTV（群馬テレビ） 4/17(日) 7:00am
TVS（テレ玉） 4/16(土) 8:00am
tvk（テレビ神奈川） 4/17(日) 8:30am
CTC（チバテレビ） 4/16(土) 7:00am
- 東海地区
SDT（静岡第一テレビ） 4/16(土) 5:00am
- 関西地区
BBC（びわ湖放送） 4/16(土) 8:00am
KBS京都 4/16(土) 6:25am
SUN（サンテレビ） 4/17(日) 7:00am
- 沖縄地区
OTV（沖縄テレビ） 4/16(土) 5:30am

ライフ・ライン プログラムNo.1143 「アメイジング・グレイス」

(ゲスト：稲葉寛夫/チア・にっぽん)



ライフ・ライン 緊急特番 「東日本大震災 現地状況レポート」

TV「ライフ・ライン」にて、緊急特番「東日本大震災－現地状況レポート」に出演し、ネットにアップされています（30分番組）。被災者・関係者の皆様への励ましとなり、復興への良き情報提供となるようにお祈りください。http://tv-lifeline.com/special/special_program.html

ファミリーフォーラム (2011春号)

「アメイジング・グレイス」

(評者：稲葉寛夫/チア・にっぽん)



「カールじいさんの 空飛ぶ家」



掲載内容はチア・にっぽんHPへ
www.cheajapan.com

♪ ボイス&メール ♪ Voice & Mail

稲葉さん、お久しぶりです！「これはわたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ」(マタイ17:5)。1月19日に生まれました南雲愛子(あこ)です。ぱたぱたしながらですが、ようやく2カ月過ぎ、よく笑うようになりました。

HPを見させていただき、救援活動のことを知りました。本当にお疲れ様でした。被災された方のことを思うと心が痛みます。祈りつつ、できることをささげていこうと思わされています。

お忙しい毎日と思いますが、くれぐれもお体に気を付けてくださいね。ご家族のためにもお祈りしています。

(神奈川 南雲 [旧姓：藤本] 恵理子 / 前チア・にっぽんスタッフ)



昨日(3月23日)、大志・望に続き、三男が自宅にて家族に囲まれて、無事産まれました。皆様のお祈りとお励まし、お助けをたくさんいただきありがとうございました。右にも左にもそれることなく真理にまっすぐ生きる、また真理のために生きる、そのような人生をとの祈りを込めて「真生(まさき)」と名付けました。今後とも家族一同宜しく願います。

(沖縄 亀川偉作・奈美)



3月26日(土)に札幌グッドアワー教会において、北海道ホームスクール開始式を行いました。14家族56人が集まりました。

第一部では、ユースの賛美リードで元気よく賛美を捧げ、今回の大震災の被災地のため、チア関係の支援のために祈り、証し人として、今回開始する金沢ファミリーの証しと、開始11年目になるブラウンファミリーの証し、さらに、岡田留美子牧師による励ましのメッセージをいただきました。ホームスクールは、主からの召



命であること、クリスチャンでもこの世のヒューマンイズムの考えで子育てをすることの危険性について話され、大きな励ましをいただきました。

また、昨年度に始めた大富ファミリーと、金沢ファミリーのために祝福を祈りました。合わせて、8年前の札幌のコンベンションでホームスクールを始めることを宣言した成田ファミリーの望君とその後始めた鍵和田ファミリーの伊久君、笹山ファミリーの公平が、4月よりそれぞれ大学、神学校などに進学することから祝福の祈りをしました。

第2部は、家族ごとにこの一年を振り返って近況を報告しました。その後の交わりもとても盛んで、互いに情報交換したり、祈りあったりして励ましあいました。

(北海道 笹山雅司)



119号の感想です。「人はその最後の瞬間まで…」のところを読んで、ああ私と同じ考えだと嬉しく思いました。勿論、最善を尽くして生きるべきなのですが…。

私自身、救われても失敗も罪も犯しました。そういう意味では全然優等生のクリスチャンではありません。ただ罪のどん底で手を伸ばしたら変わらぬ主のご愛があり、何度も涙しつつ感謝している昨今です…。

主にハレルヤ!

今は大変な日本です。とにかく祈ることしか出来ないのです。

(匿名)

GLEEM 第13回 (2011秋)

5カ月ホームステイ in カナダ

God's Loving English Experience Ministry

カナダの雄大な大自然に囲まれながら英語を学習し、神様との関係も深められると好評のGLEEM留学プログラム。そのほか、スキー、スケート、ロッククライミングなど盛りだくさんのアクティビティや、クリスチャン教育も充実！ 地元カナダのクリスチャンスクールの生徒さんたちとも交流を持つことができ、さらなる英語の実力がつけられます！

詳細はチア・にっぽん事務局へ (TEL 042-318-1807、メール: kuwatani@cheajapan.com)。
お申込みはお早めに！

■次回の予定 <秋のプログラム>予定
出発：8月13日

帰国：2012年1月中旬

5月23日 (月)

チア HOPE

バスケットボールクラブのお知らせ

バスケットボールクラブが設立されました！

(以下、チアHOPE共同設立者の辻 奈央子さん、桐山 壱さんからののお知らせです)

- 日程 5月23日 (月)
- 集合時間 12:45 1階ロビーに集合
- 解散時間 17:00 (バスケットは13時~15時)
- 場所 新横浜 ラポール メインアリーナ
(<http://www.yokohama-rf.jp/shisetsu/rapport/>)
- 参加有無の連絡 桐山: ruiuik@yahoo.co.jp もしくは 辻: miffy2020@hotmail.com
- 会員対象 小学1年生~高校生 (年長児は要相談。低学年児童は、ボールを使った運動をします)
- 持ち物 体操着 体育館シューズ バスケットボール (学年に応じたもの) 汗拭きタオル
飲み物 (キャップつき)
- 会費 1家族 (保護者・乳幼児の休憩室 [大会議室] の利用代も入ります) 1000円
中・高校生で保護者なしで参加の場合 1人500円



小学3年生まで (年長児) は、ドッジボール用など使い慣れたボールを持ってきて下さい。4年生以上は、学年に応じた号数のバスケットボールを持ってきて下さい (ゴム、皮、どちらでも可)。体育館内で見学される保護者の方も、体操着、体育館シューズを着用ください。バスケットボール経験者の保護者の方は、是非一緒に！ (体操着、体育館シューズを忘れずに)。休憩室は大会議室となります。幼児の保護者の方は、お気に入りのおもちゃなど、少し遊べるものをご用意いただくといいかもかもしれません。飲食可です。会議室内での運動はできません。

※分からないことがありましたら、気軽にメールで質問ください。また施設に関してはラポールのホームページを参考にしてください。



ハレルヤ！ 誠に至らない私たちですが、皆さんと共に、主を恐れ、主の恵みと憐れみの中で、主の智慧を求めながら、共に歩いていける幸いを、心から感謝しています。深い感謝の中で、今後、ますます堅実に歩いていくために、皆さまへの一つの質問を、謹んで、尋ねさせていただこうと思いました。

皆さま、メンバー費、お忘れではないでしょうか？

主のあわれみの中で12年めへ

学校任せにしないで、親が責任を持ち、主にあって子どもたちを育てよう！ そうした親たちを祖父母、教会、クリスチャンが助けて行こう！ 週2時間のチャーチ&ホームスクーリングから――。聖書の本質に立ち返ることをめざすこの働きも、12年めに入ります。

主の祝福と皆さんの助けのおかげです。ますます、真っすぐに前進し、これまで同様、皆さんと共に、歩み続けていければと願っています。

こうしたチア・にっぽんの働きは、皆さんのメンバー費、献金が、経済的な柱の一つになっています。チア自身による外貨獲得や企業・団体の皆さんからの支援等もあります。でも厳しい経済環境の中では、皆さんのご協力が鍵です。

4年ぶりの呼びかけ

今、幸いなことに、年2回、3000家族・教会の皆さまにマガジン、ニュースレターを送らせていただいています。その中で今年度のメンバー費（次ページ参照）を送金くださっているのは、320家族・教会の皆さまとなっています。

メンバー費の送金について、4年ほど前にお忘れないように、呼びかけさせていただいて以来、ずっと増加傾向で、約500家族・教会の皆さまが送っていただきました。

最近、4年前のレベルに戻ってきましたので、4年振りに呼びかけさせていただくことにしました。

無理な方は、祈りの支援を！

いつもお伝えしてきたことは、「今、支払いが無理な方は、無理しなくていいです」ということです。厳しい経済状況の中で、情報を必要とされている皆さんにも、今後も、できる限り、届けて行こうと思っています。ただし、チアの経済環境も厳しいので、もし可能な皆さんは、ぜひ、会費納入の方向でご検討いただければと願っています。

「どうしても地上で払えなかった場合は、それでもいいです。その時は、天国でお礼に来てください」と言ってきました。その方針も変えずにこれからも思っています。その方々は、その分、ぜひ、この働きへの祝福を、さらに祈り続けてください。その祈りも貴重です。

感謝！ 献金や教材購入等は増加中！

さらに堅実な展開のために

チア・にっぽんへの献金や、書籍・DVD等の購入額等は、お陰様で、一昨年、昨年とずいぶん増え、とても感謝しています。昨年は書籍等の新規出版はできなかったにも関わらず、伸びているということは、さらに広い、新しい層に浸透し、用いていただいているということでもあり、これ

も励まされています。

一方、この4年間は、支出への大幅なダウンサイジングを進めたこともあり、祈りの課題でした、単年度の赤字等はほぼ解消し、財政的な面からも、この1年を、祝福の中で終えることができました。今年度以降も、さらに堅実な展開を進めていく上で、メンバー費へのご協力をお知らせさせていただくことにしました。

メンバー費・最新支払い時期の記入について

チアの皆さんからの声として、圧倒的に多いのは「未払いのメンバーの皆さんのうち、90%は忘れているのだと思う」「自分がいつ会費を納めたか、わからなくなったので教えてほしい」「送付されるニュースレター等に明記してくれれば」といったコメントです。そのあたり、私どもの至らなかった点としてとらえています。過去1年内に送金してくださっている皆さんには、1年経過が近づいているお知らせを送らせていただいています。逆に、その期間を過ぎたり、長期間お忘れのメンバーの皆さまには、期限切れ等のお知らせが届かないといった方法でした。

こうした中で、メンバーの皆さん方から、最新の送金時期を明記すべきではと、ご提案いただきました。それで、試験的にでも、次号からの実施を検討した方がいいのかなと感じています。いかがでしょうか。また、送金時期のご確認が必要な場合は、どうぞ遠慮されないでチア事務局に電話、ファックス、メールのいずれでも、ご連絡ください。

子どもたちの成長に励まされています！

この春も、各地で、チャーチ&ホームスクーリングの方々と出会って、その祝福された様子に触れることができました。大学、専門学校、神学校等への進学や、伝道者として海外に向かった皆さんも与えられ、今後がますます楽しみです。神さまが、この働きを、次世代のための、戦略的な働きの一つと考えてくださっていることを思います。

霊的な面ではもちろん、経済的な面でも、さらに堅実に歩いていければと思っています。ぜひ、皆さんのミニストリーの一つとして、祈り、支え、会費やご献金を通して、他のメンバーや今後が続く皆さんたちを助けてくだされば感謝です。どうぞ、よろしく願います。

いつも、神さまのあわれみを感じています。その値なき者であるのに、皆さんと歩むことは幸いであり、特権です。ますますの祝福があることを心から祈っています。

感謝しつつ

チア・にっぽん 稲葉 寛夫

チア・メンバー入会申込方法

ニュースレター、マガジン、ネットワーク、各種ディスカウント、そして全国のチャーチ&ホームスクーラーの応援！ 霊的ムーブメントを進める皆さんご自身のミニストーリーを、チア・にっぽんを通して、展開されませんか？ 会員になりますと、毎月のニュースレター（WEBメンバーは年2回）と年2回のチア・マガジン（100ページ、1冊525円）の無料購読、最新情報が提供されます。また、各集会の参加費特別ディスカウント、チア書籍等が10%オフで購入いただけるなど、様々な特典があります。この機会に、ぜひ奮ってご参加ください。

- 1 チア・にっぽん事務局まで、下記の入会申込書をFAXまたは郵送してください。
- 2 最寄りの郵便局、または銀行より、年会費をお振り込みください。

■年会費

(1) 個人メンバー	5,000円 (毎月のNL、年2回のマガジン、各種割引)
(2) 団体メンバー	10,000円 (毎月のNL、年2回のマガジン、各種割引)
(3) WEBメンバー	3,000円 (年2回のNL & マガジン、各種割引)

■振込先

【郵便振替】 00190-3-35461 チア・にっぽん事務局
【銀行振込】 三菱東京UFJ銀行 赤羽駅前支店 普通 1746716 ホームスクーリング・ビジョン株式会社

チア・にっぽん事務局

〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103 TEL 042-318-1807 / FAX 03-6862-8648

※法人格・会計監査：公正な会計の実施を念頭に、当会はホームスクーリング・ビジョン株式会社に所属、その会計監査を受けます。

入会申込書 → FAX 03-6862-8648 (郵送可)

申込内容	「チア・にっぽん」メンバーに申し込みます				年	月	日
	<input type="checkbox"/> 個人メンバー		<input type="checkbox"/> 団体メンバー		<input type="checkbox"/> WEBメンバー		
フリガナ お名前 (団体メンバーは 代表者名)	(才)				団体名 (団体メンバーのみ記入)		
ご住所	〒				所属教会		
TEL&FAX	TEL ()		FAX ()				
E-mail							
フリガナ ご家族名 (個人メンバーの方)	(才)	(才)	(才)	(才)	(才)	(才)	(才)
現在、チャーチ&ホーム スクールをされています か？ ぜひ、皆さんの現 状やビジョンをお分かち 下さい。	A.現在実践している B.今はしていないが今後希望している C.その他						

チア・にっぽんカレンダー

●VIP慶大・早大

5月9日(月) 18:00-21:00

メインスピーカー：柴橋正直衆議院議員

ゲストスピーカー：稲葉寛夫、三谷康夫氏、大垣昌夫氏

場所：慶応義塾大学三田キャンパス(三田駅徒歩7分)

連絡先：森敬子さん(090-2339-8369)

●チアにっぽん関東ミニ学習会(予定)

7月11日(月) 10時30分～15時30分

「ザ・学習/交わり/ストレッチ/バスケットボールスペシャル」

◆国立オリンピック記念青少年総合センター

(代々木 小田急線参宮橋駅7分)

●白馬セミナー ホテル・グリーンプラザ白馬(長野)

11月17日(木)-19日(土)(予定)

主講師 エリザベス・スミス 弁護士夫人



みことばを携え、世界へ。

キリスト教理念に基づいた小・中・高・大学部の一環教育

京都インターナショナルユニバーシティ
 KIUアカデミー

京都府京田辺市草内ノ坪1-1

学校見学随時受付中

0774-64-0804

<http://www.kyotoiu.ac.jp>